

エビデンスに基づく政策立案（EBPM）



社会科学の発展を考える円卓会議
2020年7月29日

背景

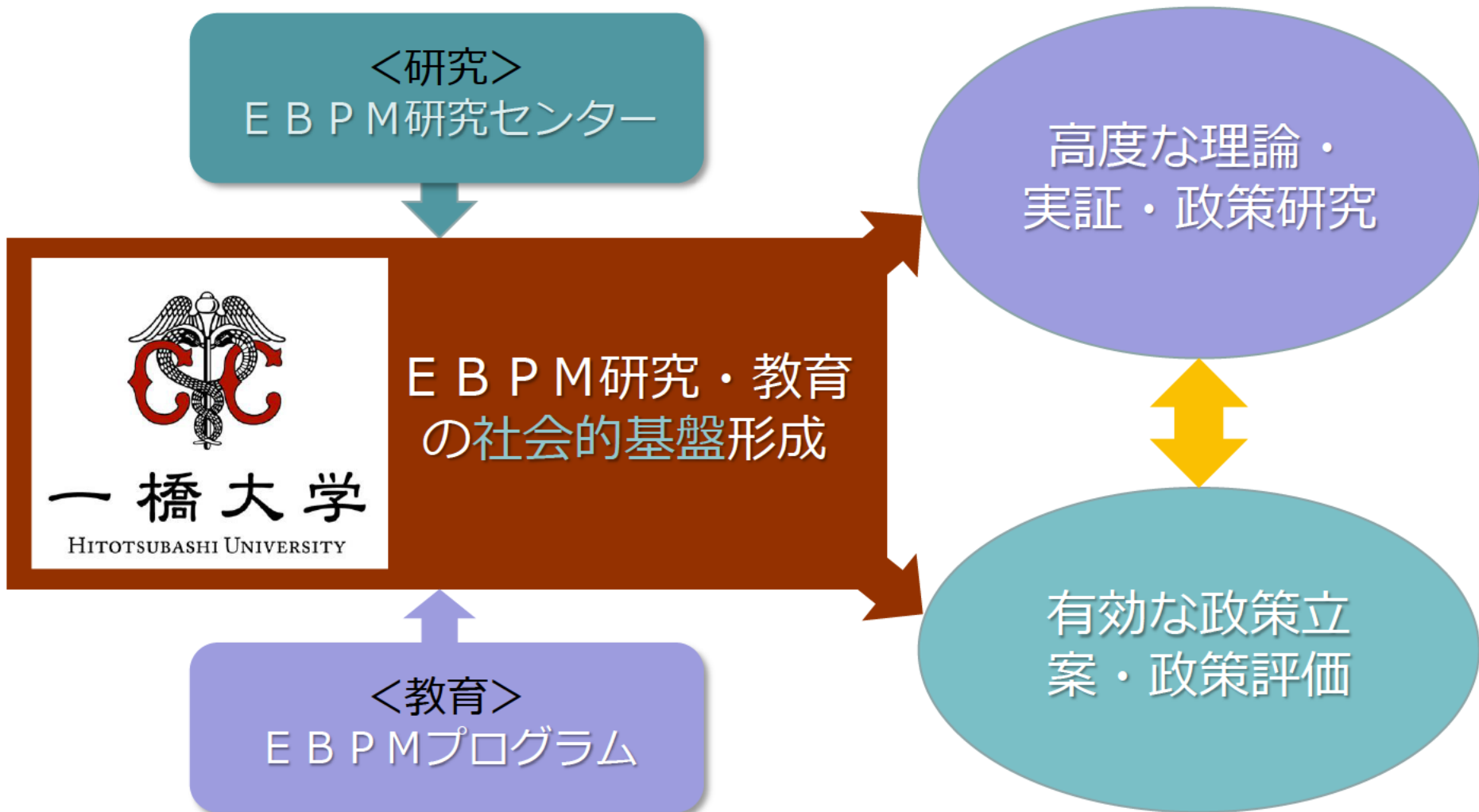
■ 政府内で高まるEBPMの重要性

- 統計改革推進会議「最終とりまとめ」（2017.5）
EBPM推進統括官（仮称）を各省庁に設置
- 内閣府・経産省（RIETI）・総務省等での取組み

■ EBPMを担う人材育成が急務

- 近年では、事務系総合職の1/3以上が修士
- 各省庁で研修を充実するも、博士はごく少数

日本の社会科学全体の発展を目指して



経済研究所を中心とした これまでの取り組み



経済社会に関する
世界でも傑出した
データベース群の構築

代表例：『長期経済統計』（1960-80年代）
『アジア長期経済統計』（1998年以降）
→ 経済学会全体の知的財産

統計データと直結した高度な
理論・実証分析と政策研究

EBPMを
組織的に推進

《共同利用・共同研究拠点》としての高い評価

積極的な国際共同研究・高い学術的成果

2018年度中間評価：
人文・社会科学系の研究所（全8拠点）の
なかでは唯一の「S」評価

高まる社会科学研究拠点としての重要性

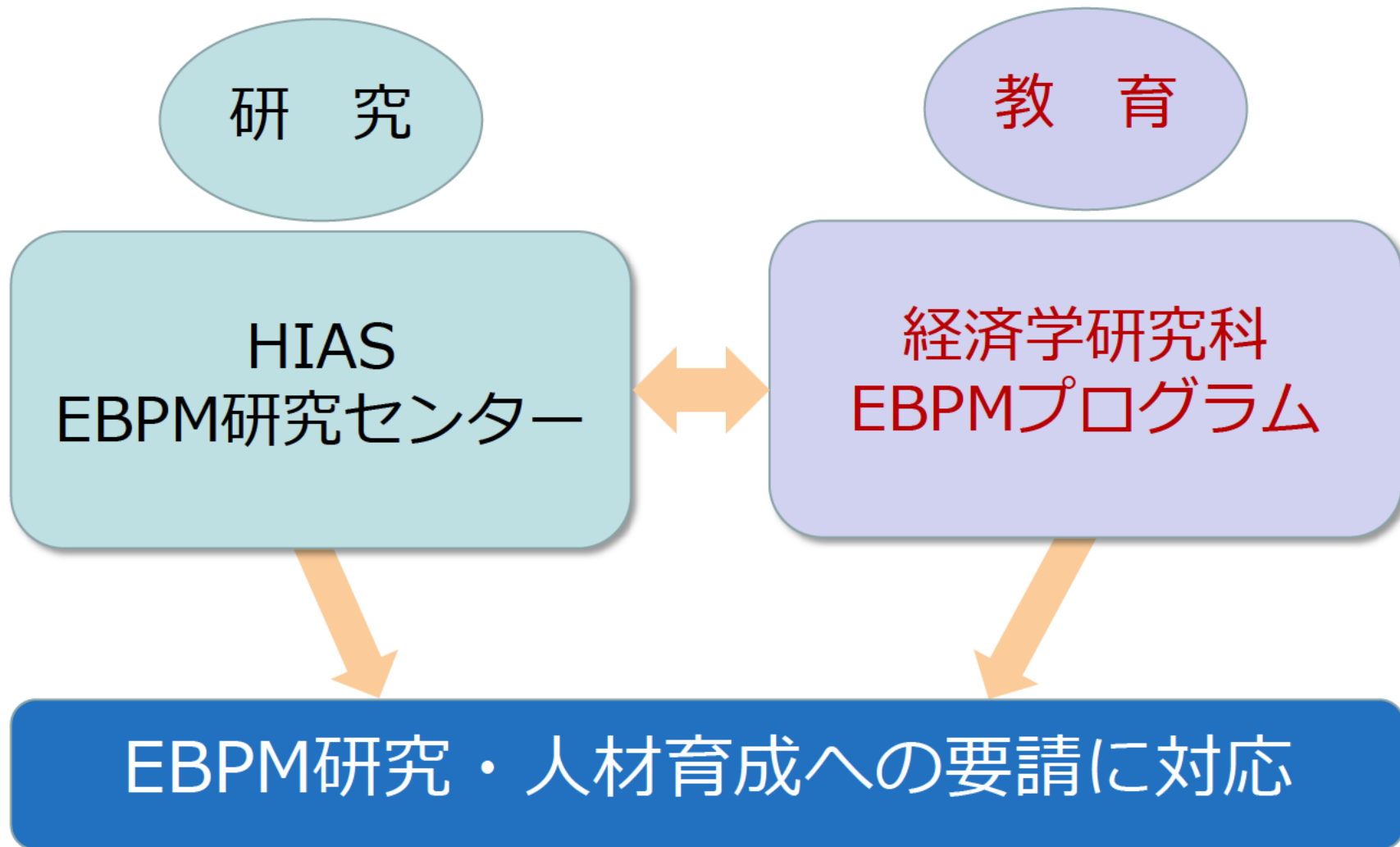
EBPMを目指した、さらなる機能強化

日本学術振興会「人文学・社会科学データインフラストラクチャー構築プログラム」に採択
(2018年度)



政府統計のデータベース化・英語化等による利活用促進

大学全体による新たなEBPM推進体制





研究員は、中央官庁出身者等を中心に構成

各省庁と政策研究を積極的に連携

EBPM人材育成に貢献

(👉次ページ)

■ 研究員



祝迫 得夫
IWASAKO, Tokuo
経済研究所 教授
専門分野
ファイナンス、実証マクロ



植杉 威一郎
UESUGI, Ichihiro
経済研究所 教授
専門分野
企業金融、中小企業、日本経済



岡室 博之
OKAMURO, Hiroyuki
大学院経済学研究科 教授
専門分野
産業組織論・企業経済学



小塩 隆士
OSHI-O, Takashi
経済研究所 教授
EBPM研究センター長
専門分野
公共経済学



佐藤 主光
SATO, Motohiro
大学院経済学研究科 教授
専門分野
財政学



塩路 悦朗
SHIOJI, Etsuro
大学院経済学研究科 教授
専門分野
マクロ経済学



堀 雅博
HORI, Masahiro
大学院経済学研究科 教授
国際・公共政策大学院 教授
専門分野
日本・アジア経済論、計量実証分析



渡部 敏明
WATANABE, Toshiaki
経済研究所 教授
専門分野
計量ファイナンス、マクロ計量経済学

■ シニアアドバイザー



西川 正郎
NISHIKAWA, Masao
大学院経済学研究科 教授
専門分野
生年代・年齢世代毎の特徴、格差問題、部門間障壁が自然率や生産性へ及ぼす影響、持続可能なマクロ経済バランス



根本 洋一
NEMOTO, Yoichi
大学院経済学研究科 教授
国際・公共政策大学院 教授
専門分野
国際金融、東アジア経済、通貨危機防止の地域的枠組み



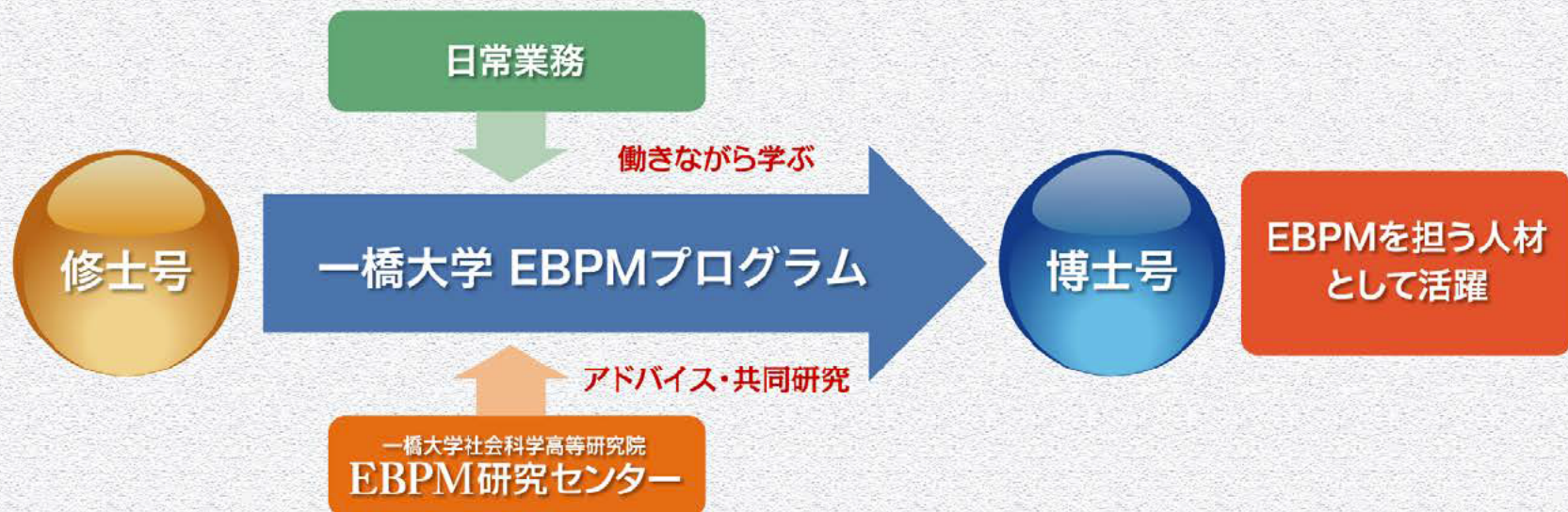
森川 正之
MORIKAWA, Masayuki
経済研究所 教授
専門分野
経済政策、日本経済、応用ミクロ経済学

一橋大学大学院経済学研究科
博士課程 **EBPM**プログラム
Program for Evidence-based Policy Making

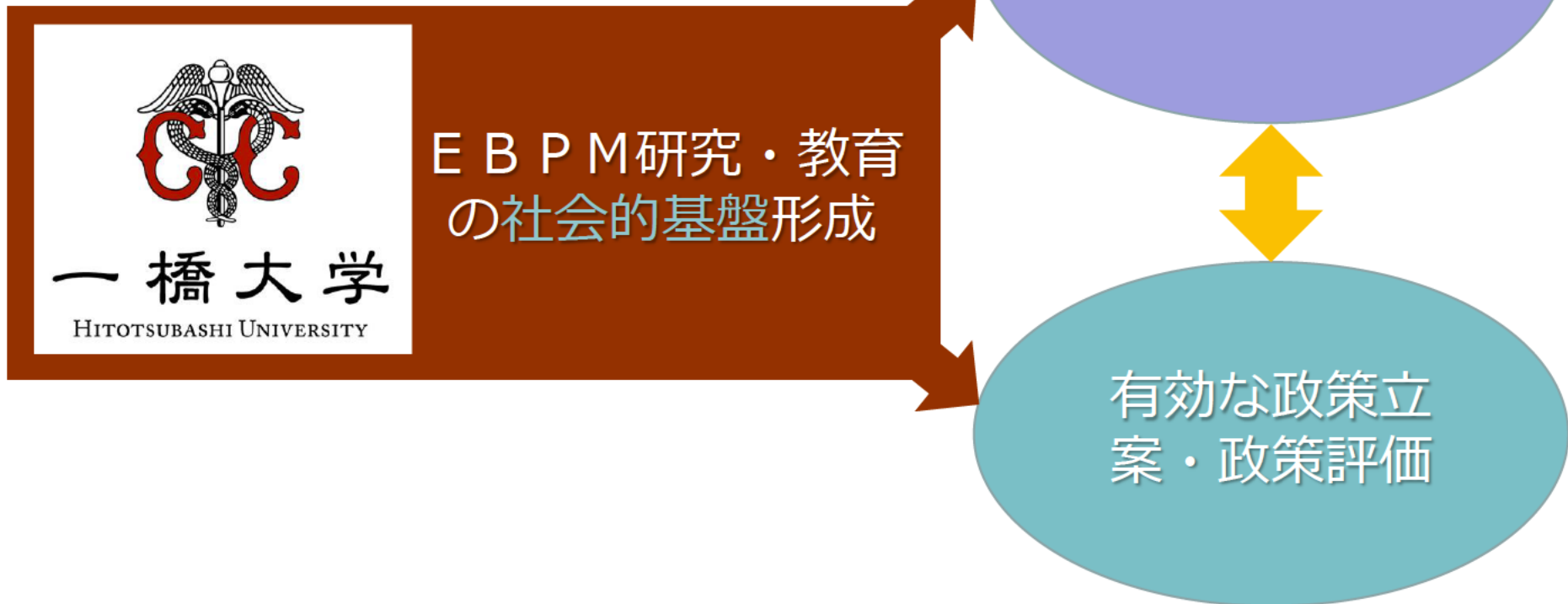
一橋大学**EBPM**プログラムは、
特別選考(AO)による社会人の博士後期課程編入学生を対象にした、
EBPM(証拠に基づく政策立案)のための
高度な実証研究を行うことを目的とするプログラムです。

2021年度から学生募集

一橋大学大学院経済学研究科
博士課程 **EBPM**プログラム
Program for Evidence-based Policy Making



まとめ：日本の社会科学発展への貢献





ご清聴ありがとうございました